



## 2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月10日

上場会社名 株式会社タスキ 上場取引所 東  
 コード番号 2987 URL <https://www.tasukicorp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 浩司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 柏村 雄 TEL 03 (6812) 9330  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	3,893	—	464	—	409	—	300	—
2020年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	56.61	51.35
2020年9月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 2020年9月期第2四半期は、四半期財務諸表を作成していないため、2020年9月期第2四半期の数値及び前年同四半期増減率並びに2021年9月期第2四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 当社は、2020年10月2日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2021年9月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2021年9月期第2四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	6,800	2,515	37.0
2020年9月期	5,255	2,155	41.0

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 2,515百万円 2020年9月期 2,155百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年9月期の業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	29.5	870	50.2	760	45.6	530	60.3	99.59

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 2. 業績予想の修正につきましては、本日（2021年5月10日）公表いたしました「業績予想の（上方）修正に関するお知らせ」をご覧ください。  
 3. 1株当たり当期純利益の予想数値は、当第2四半期会計期間末の発行済株式数が当事業年度末まで同数であると仮定して算定した期中平均株式数を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	5,340,000株	2020年9月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	一株	2020年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	5,303,516株	2020年9月期2Q	一株

(注) 当社は、2020年9月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年9月期第2四半期の期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、ワクチン接種の開始など影響の縮小を目指した動きや、生産や消費活動の持ち直しの兆しが見られました。その一方で、緊急事態宣言が再発令されるなど、感染再拡大の懸念もあり、引き続き先行き不透明な経済状況となっております。

このような状況の下、当社は、オンライン完結型の不動産投資型クラウドファンディング「TASUKI FUNDS」の会員募集および第1号ファンドの運用を開始いたしました。新型コロナウイルスが与えた日本経済への影響を背景に、不動産投資型クラウドファンディングは低リスクかつ安定した利回りが期待できることから、個人の投資ニーズがこれまで以上に高まっております。ハードルが高いイメージのある不動産投資ですが、「TASUKI FUNDS」では専門的な知識や多額の資金を必要としないため、投資の幅を広げ、手軽に始められる不動産投資を実現します。

また、新型コロナウイルスの影響で、非対面コミュニケーションが一気に進んだこともあり、あらゆる業界でデジタル化が進んでおります。当社は、自社のみならず不動産業界全体の発展と市場のさらなる拡大を目指し、不動産業界のテクノロジー活用を牽引する「DX戦略研究室」を設立いたしました。デジタル人材の採用や外部パートナーとの連携を積極的に進め、不動産価値流通のデジタル化を推進するサービス「TASUKI TECH」の開発を加速していきます。

当第2四半期累計期間における経営成績は、積極的な販売活動の結果、17件の引渡しを行い、売上高は38億93百万円、営業利益は4億64百万円、経常利益は4億9百万円、四半期純利益は3億円となりました。

なお、第1四半期会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、セグメント別の業績については記載しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の説明

## (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ15億45百万円増加し、68億円となりました。流動資産は前事業年度末と比べ15億61百万円増加の66億30百万円、固定資産は前事業年度末と比べ16百万円減少の1億69百万円となりました。

流動資産の主な増加要因は、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が前事業年度末と比べ10億87百万円増加、現金及び預金が前事業年度末と比べ3億68百万円増加したことによります。

固定資産の主な減少要因は、ソフトウェアが前事業年度末と比べ23百万円減少したことによります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ11億84百万円増加し、42億84百万円となりました。流動負債は前事業年度末と比べ6億98百万円増加の22億41百万円、固定負債は前事業年度末と比べ4億86百万円増加の20億42百万円となりました。

流動負債の主な増加要因は、1年内返済予定の長期借入金が前事業年度末と比べ4億70百万円増加、工事未払金が前事業年度末と比べ2億58百万円増加したことによります。

固定負債の主な増加要因は、長期借入金が前事業年度末と比べ4億39百万円増加、社債が前事業年度末と比べ80百万円増加したことによります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比べ3億60百万円増加し、25億15百万円となりました。増加要因は、利益剰余金が前事業年度末と比べ1億70百万円増加、株式発行により、資本金及び資本準備金が前事業年度末と比べ合計で1億90百万円増加したことによります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)の残高は、前事業年度末と比べ3億68百万円増加し、28億53百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、全体で6億60百万円の資金の減少となりました。主な資金の減少要因は、たな卸資産の増加額10億87百万円、法人税等の支払額1億43百万円であります。また、主な資金の増加要因は、税引前四半期純利益4億35百万円、仕入債務の増加額2億58百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、全体で33百万円の資金の増加となりました。主な資金の増加要因は、投資有価証券の売却による収入1億12百万円、事業譲渡による収入47百万円であります。また、主な資金の減少要因は、投資有価証券の取得による支出1億円、無形固定資産の取得による支出16百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、全体で9億95百万円の資金の増加となりました。主な資金の増加要因は、長期借入れによる収入24億48百万円、株式の発行による収入1億88百万円であります。また、主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出16億27百万円、配当金の支払額1億30百万円であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績につきましては、2020年11月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年5月10日）公表いたしました「業績予想の（上方）修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当該業績予想については、本資料の日付時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,485,114	2,853,115
販売用不動産	597,630	362,554
仕掛販売用不動産	1,860,493	3,183,241
原材料及び貯蔵品	476	246
前渡金	96,838	172,280
前払費用	13,697	26,763
その他	14,423	32,157
流動資産合計	5,068,673	6,630,359
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,770	13,770
減価償却累計額	△1,858	△2,271
建物(純額)	11,911	11,498
車両運搬具	7,112	7,112
減価償却累計額	△4,387	△4,841
車両運搬具(純額)	2,725	2,271
工具、器具及び備品	6,136	6,356
減価償却累計額	△3,477	△3,876
工具、器具及び備品(純額)	2,659	2,480
土地	63,005	63,005
リース資産	6,040	6,040
減価償却累計額	△2,818	△3,422
リース資産(純額)	3,221	2,617
建設仮勘定	8,306	9,846
有形固定資産合計	91,829	91,719
無形固定資産		
商標権	297	280
ソフトウェア	33,035	9,600
リース資産	1,813	1,473
その他	4,643	4,350
無形固定資産合計	39,789	15,704
投資その他の資産		
出資金	7,240	12,880
長期前払費用	3,106	778
繰延税金資産	19,726	21,316
その他	24,747	27,365
投資その他の資産合計	54,820	62,339
固定資産合計	186,439	169,763
資産合計	5,255,113	6,800,123

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	79,817	338,707
短期借入金	326,000	284,500
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	858,940	1,329,290
リース債務	2,057	2,076
未払金	55,325	21,839
未払費用	1,848	13,419
未払法人税等	156,990	149,150
前受金	20,000	25,250
預り金	3,253	25,457
前受収益	4,086	4,086
賞与引当金	12,593	14,441
その他	22,092	13,389
流動負債合計	1,543,006	2,241,606
固定負債		
社債	—	80,000
長期借入金	1,492,180	1,931,200
リース債務	3,511	2,468
退職給付引当金	16,300	9,360
その他	44,731	19,750
固定負債合計	1,556,723	2,042,779
負債合計	3,099,730	4,284,386
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	920,000	1,015,060
資本剰余金	605,000	700,060
利益剰余金	630,383	800,616
株主資本合計	2,155,383	2,515,736
純資産合計	2,155,383	2,515,736
負債純資産合計	5,255,113	6,800,123

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	3,893,217
売上原価	2,993,303
売上総利益	899,913
販売費及び一般管理費	435,243
営業利益	464,670
営業外収益	
受取利息	16
その他	1
営業外収益合計	17
営業外費用	
支払利息	38,534
支払手数料	5,460
社債発行費	2,449
上場関連費用	6,183
株式交付費	2,055
その他	533
営業外費用合計	55,217
経常利益	409,470
特別利益	
投資有価証券売却益	12,000
事業譲渡益	14,315
特別利益合計	26,315
税引前四半期純利益	435,786
法人税、住民税及び事業税	137,142
法人税等調整額	△1,590
法人税等合計	135,552
四半期純利益	300,233



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	435,786
減価償却費	5,024
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,847
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,939
受取利息及び受取配当金	△16
支払利息	38,534
支払手数料	5,460
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12,000
事業譲渡損益 (△は益)	△14,315
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,087,443
前渡金の増減額 (△は増加)	△75,442
仕入債務の増減額 (△は減少)	258,889
前受金の増減額 (△は減少)	5,250
預り金の増減額 (△は減少)	2,203
その他	△34,933
小計	△478,093
利息及び配当金の受取額	16
利息の支払額	△38,775
法人税等の支払額	△143,759
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△660,611</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,760
無形固定資産の取得による支出	△16,104
投資有価証券の取得による支出	△100,000
投資有価証券の売却による収入	112,000
出資金の払込による支出	△5,640
敷金及び保証金の差入による支出	△3,070
事業譲渡による収入	47,980
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>33,405</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	46,500
長期借入れによる収入	2,448,800
長期借入金の返済による支出	△1,627,430
リース債務の返済による支出	△1,024
割賦債務の返済による支出	△33,213
社債の発行による収入	97,550
匿名組合出資預り金の純増減額 (△は減少)	20,000
株式の発行による収入	188,064
配当金の支払額	△130,000
上場関連費用の支出	△8,045
その他	△5,993
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>995,207</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	368,001
現金及び現金同等物の期首残高	2,485,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,853,115

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月2日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2020年10月1日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行300,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ92,460千円増加しております。

また、新株予約権の行使による新株式の発行40,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,600千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が1,015,060千円、資本剰余金が700,060千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

当社の報告セグメントは、「LiveMana事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社は従来、「LiveMana事業」・「DayPay事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、2021年1月4日をもって「DayPay事業」を第三者へ譲渡することを決定したことに伴い、「DayPay事業」の重要性が乏しくなったため、第1四半期会計期間よりセグメント情報の記載を省略しております。